

株式会社商工組合中央金庫 第3回業務運営委員会 議事概要

1. 開催日 平成29年1月31日(火) 12:50~14:05

2. 出席者(「委員名簿」別添)

(委員出席者) 敬称略

青山伸悦、石井秀晴、岡室博之、笹島律夫、高橋晴樹、中嶋修、福井弘、望月芳雄

(商工中金出席者)

長谷川取締役、小林執行役員、中谷執行役員総務部長、佐藤執行役員経営企画部長、
牧野地域連携室長、羽根業務推進部長、和田金融法人室長

3. 議事概要

(諮問事項)

- ・ 他の事業者との間の適正な競争関係の確保の状況の検証及び地域金融機関との多様な連携の在り方等

(委員からの主な発言等)

- ・ 地域金融機関と商工中金は、取引先中小企業の成長のためにどのような支援ができるかという観点で互いに協力し、成果を出していくことが重要。そのために互いに何ができるか意見交換できると良い。
- ・ 金融機関、大学、行政、関係機関で構成される中小企業支援体制を強固にすることで情報が広く行き渡り、対応が非常に早くなる。商工中金も一員として力を発揮いただきたい。
- ・ 全国ネットワークの商工中金と地域金融機関が協力し、M&Aが円滑に行われれば、企業が倒産せずに引き続き経営資源を活かせるので、そのような支援を行っていただきたい。
- ・ 商工中金の全国展開ならではの経験や人脈を活かし、第三者機関とも連携して、中小企業の経営改善や生産性向上が具体的な数値目標の達成が図られるようアドバイスをお願いしたい。
- ・ 時代は変化しており、中小企業組合も時流に沿った活動が必要であり、商工中金や関係機関が連携し、計画のスタート段階から中小企業と一緒に支援していくことが大事。
- ・ 補助金の推進方法等のノウハウを共有してもらったことで、大きな成果が出ている。引き続き、商工中金や関係団体の高度なノウハウを積極的に取り入れて地域の支援活動に貢献していきたい。
- ・ 商工会議所と商工中金との連携は、ビジネスマッチング、地域ブランド資源での連携が中心だったが、最近は企業ニーズに基づく連携も出始めている。
- ・ 商工中金各営業店と各地の中央会が意見交換し、中央会支援テーマ等で引き続き連携していきたい。
- ・ 商工中金の多くの取組事例をホームページ上で積極的に公表すべき。民間金融機関サイドから商工中金へのアプローチがもっと増え、連携が深化する。
- ・ 卸団地の過去50年の課題を整理するとともに、将来を見据えた街づくりをするため、卸団地の好立地を活かし、地域創生の要にしていきたい。
- ・ 取組実績を項目別・時系列でまとめて見える化することは非常に重要。引き続き、見える化するとともに、今後は、取組みをフォローアップして効果や影響を調査・分析し、将来の連携の進め方に還元していくことを期待する。